



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 ネクストウェア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4814 URL <https://www.nextware.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 崇克
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 渡邊 博和 (TEL) 06-6281-9866
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	655	△5.2	△96	—	△95	—	△94	—
2025年3月期第1四半期	691	34.7	△83	—	△83	—	△88	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △94百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △88百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△7.40	—
2025年3月期第1四半期	△6.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,422	1,128	79.4
2025年3月期	1,546	1,222	79.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 1,128百万円 2025年3月期 1,222百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	△0.3	30	—	30	—	10	—	0.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	13,015,222株	2025年3月期	13,015,222株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	308,719株	2025年3月期	308,719株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	12,706,503株	2025年3月期1Q	12,706,503株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調を示しました。先行きにつきましても、緩やかな回復が続くことが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気下振れリスクには引き続き注視が必要です。

当社グループが所属する情報サービス産業では、企業の競争力強化を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）関連需要が引き続き堅調に推移しております。一方で、既存システムの老朽化やIT人材の不足といった課題が顕在化しており、企業にはIT基盤の再構築や人材戦略の強化が求められています。また、生成AIを活用したAX（AIトランスフォーメーション）への関心が急速に高まり、国内外の企業による関連投資が拡大しています。さらに、クラウドサービスの更なる普及に伴い、情報セキュリティ対策の高度化も喫緊の課題となっております。

このような状況の中、当社グループでは、ソリューション事業において、デジタル社会の進展に対応し、DX・AX領域における中長期的な成長を見据えた戦略的投資を継続するとともに、IoTやAIを活用した新たなソリューションの開発・提供に注力しております。エンターテインメント事業においては、株式会社OSK日本歌劇団のブランド力を活かし、全国公演の拡充やコンテンツの二次利用の強化を通じて、安定的な収益基盤の確立を目指しております。

これらの取り組みを進める中で、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高の減少に加え、次世代ネットワーク分野における技術力強化を目的として採用した2025年4月入社の新卒技術者30名に対し、第1四半期においてはクラウド領域を中心とした人材育成に注力し、技術研修および実務配属を通じて即戦力化を推進したこと、さらに、当該分野の需要拡大を背景に、2026年4月入社予定の技術者採用活動を積極的に進めたことにより、これら成長に向けた戦略的投資による費用増加の影響を受け、当四半期は損失となりました。しかしながら、DX・AX領域における新規ソリューションの市場獲得や、エンターテインメント事業におけるマーケティング戦略の実行によって、将来の収益成長に向けた基盤強化は着実に進展しております。また、前年度に導入した株主優待制度は、安定株主の獲得と自主公演における新規顧客の獲得に寄与しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は655百万円（前年同四半期比5.2%減）、営業損失は96百万円（前年同四半期は83百万円の損失）、経常損失は95百万円（前年同四半期は83百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は94百万円（前年同四半期は88百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ソリューション事業

企業のDX推進を背景としたIT需要は引き続き堅調に推移しております。防災情報制度の改正に伴い、自治体や企業における防災システムの更新計画が先送りされた影響により、売上高は前年同期比で減少しましたが、これは一時的な要因であり、当社主力分野であるDX・AI領域の需要は継続しております。

AIを活用した設備の異常予兆検知サービスは、製造業や社会インフラ分野での操業停止リスクや品質リスクの低減策として導入が進んでおり、前期の海外拠点向け納品を経て、本事業は標準化および拡販フェーズへと移行し、更なる市場拡大を見込んでおります。また、顔認証技術や人流分析を活用した生体認証ソリューションについても、先進的な個人認証セキュリティ基盤として新たな需要を獲得しております。さらに、スマートデバイスやドローン等の先進IoT機器とクラウド環境をシームレスに接続する通信ソリューションの開発も継続しております。

利益面では、次世代ネットワーク分野における人材強化に伴い、新人育成や採用活動に係る費用が発生しましたが、変動費の抑制や固定費の削減に努めた結果、セグメント損失は前年同期比で縮小しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間におけるソリューション事業の売上高は503百万円（前年同四半期比9.4%減）となり、セグメント損失は77百万円（前年同四半期は80百万円の損失）となりました。

② エンターテインメント事業

連結子会社である株式会社OSK日本歌劇団は、4月に南座でトップスター就任記念公演「Revue in Kyoto」を、6月には大阪松竹座で「レビュー 春のおどり」を開催しました。劇団生誕の地である大阪松竹座での伝統公演を通じて、メディア露出やテレビ出演が増加し、さらに大阪・関西万博関連イベントへの出演も実現しました。

これらの取り組みにより売上高は前年同期を上回りましたが、大阪・関西万博の影響により大規模公演が4月、6月に集中し、高採算の自主公演数が減少した結果、減益となりました。

一方で、販売グッズの開発や、NHK連続テレビ小説「ブギウギ」の放送効果による知名度向上を背景とした地方での自主公演の増加など、マーケティング活動を積極的に展開しております。前年度に導入した株主優待制度は、新規顧客や協賛企業の獲得に貢献しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間におけるエンターテインメント事業の売上高は151百万円（前年同四半

期比12.5%増)、セグメント損失は19百万円(前年同四半期は3百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,422百万円となり、前連結会計年度末に比べて124百万円減少しました。これは主として、仕掛品が11百万円、流動資産その他が11百万円それぞれ増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が155百万円減少したことによります。

負債合計は293百万円となり、前連結会計年度末に比べて30百万円減少しました。これは主として、流動負債その他が19百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が37百万円減少したことによります。

純資産合計は1,128百万円となり、前連結会計年度末に比べて94百万円減少しました。これは利益剰余金が94百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	453,298	458,972
受取手形、売掛金及び契約資産	419,537	263,653
商品	36,985	34,756
仕掛品	11,833	23,307
貯蔵品	1,430	1,383
その他	93,929	105,334
流動資産合計	1,017,014	887,408
固定資産		
有形固定資産	120,337	116,822
無形固定資産	105,470	105,770
投資その他の資産	303,377	312,123
固定資産合計	529,185	534,716
資産合計	1,546,199	1,422,125
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	152,923	115,095
1年内返済予定の長期借入金	1,950	-
未払法人税等	14,592	5,160
その他	144,077	163,270
流動負債合計	313,543	283,527
固定負債		
退職給付に係る負債	4,488	4,488
資産除去債務	5,514	5,514
その他	12	12
固定負債合計	10,015	10,015
負債合計	323,558	293,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,310,965	1,310,965
資本剰余金	229,198	229,198
利益剰余金	△212,897	△306,955
自己株式	△104,625	△104,625
株主資本合計	1,222,641	1,128,582
純資産合計	1,222,641	1,128,582
負債純資産合計	1,546,199	1,422,125

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	691,010	655,325
売上原価	554,906	538,669
売上総利益	136,103	116,655
販売費及び一般管理費	219,400	213,159
営業損失(△)	△83,297	△96,503
営業外収益		
受取利息	54	46
受取配当金	240	240
為替差益	-	584
貸倒引当金戻入益	290	367
その他	390	304
営業外収益合計	975	1,542
営業外費用		
支払利息	5	29
支払保証料	149	149
消費税等差額	-	193
為替差損	1,520	-
営業外費用合計	1,676	372
経常損失(△)	△83,998	△95,334
特別損失		
固定資産除却損	-	79
事務所改装費用	8,458	-
特別損失合計	8,458	79
税金等調整前四半期純損失(△)	△92,456	△95,413
法人税、住民税及び事業税	298	1,723
法人税等調整額	△4,046	△3,077
法人税等合計	△3,747	△1,354
四半期純損失(△)	△88,709	△94,058
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88,709	△94,058

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△88,709	△94,058
四半期包括利益	△88,709	△94,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,709	△94,058

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社は継続的な営業損失を計上しており、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していますが、当該状況を解消し又は改善するため、当社は収益構造の改革を推進しております。具体的には、従来の受託型システム開発サービスを中心とした事業モデルからの脱却を図り、クラウド技術を活用したサブスクリプション型サービスの提供へと、ビジネスモデルの転換を進めております。これにより、プロジェクト単位での一過性の収益に依存する構造から、月額課金等による継続的かつ安定的な収益の獲得を目指す、ストック型キャッシュフロー経営への移行を推進しております。

また、資金繰りの面におきましても、現時点において事業資金の調達に支障はなく、資金面では一定の余裕を有しております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソリューション 事業	エンターテイン メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	555,938	135,071	691,010	—	691,010
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,336	6,336	△6,336	—
計	555,938	141,407	697,346	△6,336	691,010
セグメント損失(△)	△80,253	△3,186	△83,439	142	△83,297

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソリューション 事業	エンターテイン メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	503,412	151,912	655,325	—	655,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,078	6,331	7,410	△7,410	—
計	504,491	158,244	662,736	△7,410	655,325
セグメント損失(△)	△77,101	△19,500	△96,601	98	△96,503

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	11,425千円	15,441千円